

伴走型小規模事業者支援推進事業
平成28年度 伴走型小規模事業者支援推進検討委員会 議事録

1. 開催年月日 平成29年2月7日(火)
2. 開催場所 多賀城・七ヶ浜商工会 多賀城会館3階
3. 開 会 午前10時～
4. 出席者 委員長 山崎 澄義 氏(多賀城・七ヶ浜商工会副会長)
副委員長 横田 芳博 氏(多賀城・七ヶ浜商工会副会長)
委 員 鈴木 良彦 氏(多賀城市市民経済部商工観光課長)
小玉 寿 氏(七ヶ浜町産業課長)
南條 晃一 氏(専門家・㈱SRDアソシエイツ)
本田 孝一 氏(多賀城・七ヶ浜商工会商業部会長)
八嶋 喬 氏(多賀城・七ヶ浜商工会工業部会長)
松村 敬子 氏(多賀城・七ヶ浜商工会観光サービス業部会長)
小島 光子 氏(多賀城・七ヶ浜商工会女性部長)

事務局 中川局長、鈴木課長、佐藤央、八巻、遠藤、橋本、吉澤

5. 委嘱状交付 安住商工会長から開会挨拶の後、委員へ委嘱状が交付された。
山崎委員長が座長となり、議事に入った。

6. 報告事項

- (1) 経営発達支援計画の認定経過および本委員会の役割について

鈴木課長より、資料1-1号、1-2号を基に、経営発達支援計画認定に至るまでの経緯、経営発達支援計画の事業内容、本委員会の役割について説明する。

- (2) 経営発達支援計画の概要について

鈴木課長より、資料2号を基に本会経営発達支援計画の概要について説明する。

7. 協議事項

- (1) 経営発達支援事業実施に関する評価値(案)について

鈴木課長より資料3号を基に、本会経営発達支援事業の進捗を評価するにあたり、目標数値に対する達成度合により、「A、B、C、D」の値で評価することを提案する。

山崎委員長より意見を求め、以下の意見が出された。

南條先生)	「A」について、達成率100%以上とはどういうことですか。
鈴木課長)	目標以上の数値を達成したということです。
鈴木良)	他の機関でも自分達で基準を決定しているのですか。統一の基準はあるのですか。
鈴木課長)	国から示されている統一の基準はあるものの、詳細な部分で明確に示されて

	いない部分もあるので、更に精査した基準を設けたいと考えました。
鈴木良)	承知しました。

以上の意見が出され、評価値（案）は承認された。

(2) 経営発達支援事業の実施状況および評価について

I 経営発達支援事業

①地域の経済動向調査に関すること

吉澤主査より、資料4号を基に以下の通り説明。

- ・統計資料等の整理分析調査については、経済・景気動向調査を四半期に1回実施、合計年4回実施（資料4-2号から4-5号）
- ・事業者アンケート調査については、年2回実施（資料4-6、4-7号）
- ・決算データの整理分析については、今後実施
- ・公表回数については、会報同封により6回実施

山崎委員長より意見を求め、特に異議なく承認された。

②経営状況の分析に関すること

遠藤主査より、資料5号を基に以下の通り説明。

- ・巡回指導件数について、2,126件実施
- ・経営分析について、24件実施
- ・窓口相談件数について、728件実施

山崎委員長より意見を求め、以下の意見が出された。

鈴木良)	経営分析は24件とあるが、資料5-2号によると、12項目ある。この差異は何ですか。
鈴木課長)	経営分析の「24件」は企業数、資料5-2号の「12」は項目数である。1社につき、複数の項目の分析を実施しました。
山崎委員長)	資料の提示の仕方が分かりにくく、失礼いたしました。
鈴木良)	承知しました。

山崎委員長より再度意見を求め、特に異議なく承認された。

③事業計画策定支援に関すること

佐藤主査より、資料6号を基に以下の通り説明。

- ・事業計画策定セミナー開催回数について、小規模事業者持続化補助金の公募時期に合わせ、3回実施
- ・事業計画策定個別相談会開催回数について、小規模事業者持続化補助金の個別相談会として5回、専門家派遣11回の合計16回実施
- ・事業計画策定支援について、小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金の申請書作成支援として、合計52件実施
- ・若手後継者育成事業について、多賀城・七ヶ浜商圈活性化検討委員会を7回開催
- ・創業ビジネスプラン策定支援件数について、合計6件実施

山崎委員長より意見を求め、以下の意見が出された。

小玉)	手後継者育成事業について、1回あたりの参加人数が少ないのでは。理由はありますか。
鈴木課長)	今年度は若手後継者事業の3年目ということもあり、人員を絞り、開催しました。
山崎委員長)	経営発達支援事業の初年度ということもあり、今後は増員するよう努めていくということで良いでしょうか。
鈴木課長)	はい。努めてまいります。
小玉)	承知しました。

山崎委員長より再度意見を求め、特に異議なく承認された。

④事業計画策定後の実施支援に関すること

鈴木課長より、資料7号を基に以下の通り説明。

- ・フォローアップ事業者数について、持続化補助金、ものづくり補助金の合計29件
- ・1社当たり実施回数について、29件に対し延227回行ったため、約7回実施
- ・小規模事業者経営発達支援資金融資制度について、条件に合致する案件がなかったため、今年度はなし
- ・小規模事業者持続化補助金申請支援について、今年度は50件実施
- ・ものづくり等補助金申請支援について、2件実施

山崎委員長より意見を求め、特に異議なく承認された。

⑤需要動向調査に関すること

八巻所長より、資料8号を基に以下の通り説明するとともに、アンテナショップにおけるアンケート調査については、効果が低いため年12回実施から2回(夏・冬)に変更したい旨を説明する。

地域外

- ・アンテナショップにおける地域外消費者の需要動向調査回数について、5回実施
- ・上記の調査件数について、310件
- ・上記調査結果の提供事業者数については、年度内に公表予定

地域内

- ・地域内消費者の需要動向調査回数について、1回実施
- ・上記の調査回収件数について、会員事業所を經由し、283件回収
- ・上記調査結果の提供事業者数について、会報へ同封し1,185件実施

山崎委員長より意見を求め、以下の意見が出された。

鈴木良)	備考欄に、「年度内公表予定」とあるが、国に実績報告を提出するのは2月ですか。
鈴木課長)	本委員会は毎年この時期に開催し、事業評価して頂きますが、国への報告は年度明けです。
鈴木良)	承知しました。
松村)	アンケートについて、多賀城駅前などでも配布しては。調査内容も、来年度以降は更に精査し、より充実したものをお願いします。

鈴木課長)	今回七のやに限定した理由は、販路開拓を中心としたためでした。調査を効果的に実施するため、来年度以降は、調査方法・内容共に更に精査致します。
山崎委員長)	アンテナショップでのアンケート調査は、効果が低いことから2回に変更することでよろしいでしょうか。
全員	賛成

山崎委員長より再度意見を求め、特に異議なく承認された。

⑥新たな需要開拓に寄与する事業に関すること

橋本より、資料9号を基に以下の通り説明。

- ・販路開拓支援者数について、15件実施
- ・販路フォローアップについて、15件実施
- ・商談会・展示販売会 参加者について、15件
- ・上記のうち成約件数について、15件
- ・七のや、七ヶ浜横丁に出展した本会会員が15件だったため、上記件数は全て15件
- ・商談会開催について、食品製造業者への情報提供を実施。回数、案内企業数は、11回、79企業。今月に1件増加し、12回、91企業となる予定。

山崎委員長より意見を求め、特に異議なく承認された。

II 地域経済の活性化に資する取組

鈴木課長より、資料10号を基に説明。山崎委員長より意見を求め、以下の意見が出された。

松村)	にぎわい創出のまつりについて、来場者数の記載がある。市・町外から何人来ているのか、調査が必要ではないでしょうか。
鈴木課長)	市・町外からの来場者のカウントは難しいと考えます。
松村)	まつり会場でアンケートをとれば良いのではないのでしょうか。
鈴木課長)	それぞれのまつりの実行委員会があるので、提案してみます。

山崎委員長より再度意見を求め、特に異議なく承認された。

III 経営発達計画支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組み

鈴木課長より、資料11号を基に説明。山崎委員長より意見を求め、特に異議なく承認された。

(2) 今後の経営発達支援事業について

鈴木課長より、今年度は初年度であるため、来年度は今年度の反省を活かし、更に内容を精査し、充実した事業にしていく旨を説明。山崎委員長より、意見を求めたところ、以下の意見が出された。

鈴木良)	多賀城市では「まちゼミ」事業（多賀城駅前のにぎわい創出のため、商店会の店主に講師になってもらい、研修会を開催するもの）に取り組んでいるが、本事業に取り入れることは可能ですか。
中川局長)	本事業に取り入れることは、計画申請や予算の関係上難しいです。商店会連合会など、本会の他の事業で取り入れることは可能で、協力させて頂きたいです。

山崎委員長より再度意見を求め、特に異議なく承認された。

(3) その他
特になし。

8. 閉会

横田副委員長の挨拶により、午前11時30分閉会。